



JAあそだより

平成22年 1月

謹 賀 新 年



小国両神社(小国町)



■今号16ページ主な内容

- 新年のごあいさつ
- 女性部フォーラム(菜園コンクール表彰・ちゃぐりん感想文など)
- JA阿蘇小国郷SSオープン
- 各生産部会査定会・反省会 ほか

▲阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088

財務の健全化・事業の効率化を 図るため最大限の努力を

阿蘇農業協同組合
代表理事組合長
中尾 雄二



新年、明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、JA事業に対し深いご理解とご支援を賜り、役職員を代表致しまして心よりお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと気象観測史上最も遅い8月4日の梅雨明けとなり、農作物の生育が心配されたところでもあります。

主幹作物の水稲につきましては、全国的にはほぼ平年作で終わりましたが、阿蘇地区では日照不足の影響から作況指数97のやや不良となり、予約数量27万5千俵に対し出荷数量24万2千俵88%の集荷率となりました。野菜につきましては、梅雨明け後の出荷量が減少し一時的に高値で取引されましたが、9月の連休を境に出荷量は安定したものの、昨年同様安値で取引され全体として対前年比数量、販売金額共103%となりました。一方畜産につきましては、経済の不況、消費低迷の中で枝肉価格がBSE以来の最低価格で推移しており、その反動が子牛価格にも影響し繁殖農家にとって大変厳しい状況が続いております。

そういった厳しい環境下ではありますが、一昨年から農家手取りを少しでも増やしたいという思いの中、経済連の中に設置された青果物コントロールセンターを通じて、トマト・アスパラ等の販売強化をしております。出荷物の品質がいいことはもちろんですが、日々はもちろんのこと一週間先以上のより細かな出荷数量・規格・生育状況を消費地につなぐことの重要性、さらにその情報が価格に結びつくこと、そして、その結果が消費地からの産地としての評価を高めることにつながると、確信をいたしたところです。

平成22年も、組合員はもとより地域住民や利用者に信頼され「安全・安心」な農業の展開、併せて地域経済社会に貢献するため、JAの最重要課題であります営農指導の強化をはじめ、地域農業戦略の具体策を計画的に実践して参ります。特に本年は、JA阿蘇総合3カ年計画の最終年度にあたり、その総仕上げと、平成19年度に立ち上げました「JA阿蘇経営事業改革プロジェクト」を更に進め、財務の健全化・事業の効率化を図るため最大限の努力を致したいと存じます。

農業を取り巻く環境、JA事業を取り巻く環境は大変難しく、予断を許さない状況が続くと思われませんが、組合員皆様の負託に応え得るJAを目指し本年も役職員一丸となって取り組んで参りますので、皆様の更なるご支援とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご多幸とご繁栄を心からご祈念申し上げ新年のご挨拶と致します。



菜園コンクール表彰や
体験発表など充実した
女性部活動の集大成



第7回JA阿蘇女性部フォーラム「家の光大会」が11月5日、阿蘇いこいの村で開催され、女性部員をはじめJA阿蘇関係者ら約210人が参加しました。

フォーラムはチエリーフレッシュあそ1・2の皆さんによるフラダンスで開幕。続いて家庭菜園コンクール表彰が行われ、最優秀賞の河内スミ子さん(久木野)、優秀賞の池部よき子さん(二の宮)・河瀬洋子さん(阿蘇町)・甲斐かつ子さん(蘇陽)・糺馬志津子さん(小国郷)に、杉本いよ女性部長から表彰状

家の光大会フォーラム



家庭菜園コンクールの表彰

家の光大会フォーラム第7回



「ちやくりん感想文」の表彰



麻生せい子課長の講演



チエリーフレッシュあそ1・2の皆さんによるフラダンスのオープニング

と記念品が贈られました。

開会式では主催者の杉本部長が「厳しい経済・社会状況ですが、農業には可能性があり、生産の喜びがあります。農業に誇りを持ってこれからも頑張ります」とあいさつ、来賓の中尾雄二組合長、倉岡誠喜青壮年部長らが祝辞を述べました。その後、家の光協会の間壁修一郎長が情勢報告を行い、「ちやくりん感想文発表」(本誌10・11ページに掲載)があり、北みずきさん(白水小4年)・麻生あかねさん(中原小4年)・白石彩華さん(高森中央小4年)の3人がそれぞれステージで感想文を発表しました。

「体験発表」では綿貫エミ子さん(小国郷代理)が「私達のパワーアップ大作戦!」、菅美佐子さん(二の宮)が「私のふる里づくり」をそれぞれ熱く語り、JA熊本中央会管農生活センターの麻生せい子課長



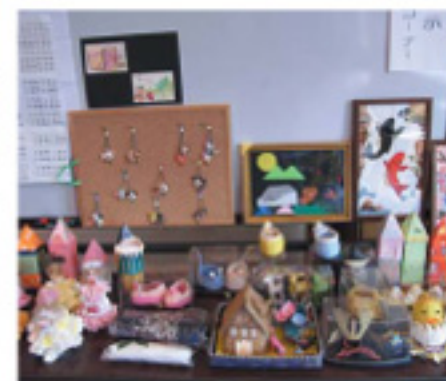
梅田泉さん(小国郷)の「指の体操」



「お楽しみ抽選会」での賞品プレゼント



が「あなたが主役、地域の元気!」というタイトルで講演を行いました。また、青壮年部の田上純一さんが盟友の主張を発表。同じく宮崎英雄さん、女性部の梅田泉さん(小国郷)の組織発表と続き、多様な充実した女性部フォーラムが展開されました。フォーラム終了前には恒例の「お楽しみ抽選会」が行われ、多彩なプログラムの幕を閉じました。



会場の特設コーナーには、会員による手工芸品や絵手紙などが展示されました

おしゃれでモダンで幻想的! JA阿蘇初のセルフ式ガソリンスタンド

JA阿蘇小国郷SS オープンイベントも大盛況!!

JA阿蘇小国郷SS(給油所)が平成21年11月1日オープンしました。小国郷中央支所管内にあった2つの施設の老朽化と、地下タンクの経過年数に対する漏洩(ろうえい)の危険性を回避するため、さらに配送の集約化を図るためJA阿蘇合併当初から計画されていたもので、10月29日仮オープンイベントを開催し大盛況となりました。11月1日から3日間オープンイベントを開催し大盛況となりました。

新装の小国郷SSは、民間企業が1993年7月に竣工したRC造りガラス膜構造2階建て施設(ガラスステーション)を買い取り、改修・改造工事を行い、JA阿蘇では小国郷地区の民間も含め初のセルフ式ガソリンスタンドとなりました。



JA・工事関係者による落成式



「よろしくお願ひします!!」小国郷SSスタッフの皆さん



同時に4台の給油が可能なSS

アップにより、特に幻想的です。このような構造アサインのSSは全農のJAセルフ式SSでも初めてであり、サインポール(価格・セルフ・JASSの3つの看板)を横並びに設置したのも全農初となっています。

施設の広さは延べ777平方メートルで同時に4台の給油が可能。総事業費1億6767万円。月間のガソリン供給計画は220キロリットル、年間4億7867万円の初年度供給計画を立てています。

▼JA阿蘇小国郷SS/営業 11
午前7時~午後9時 / (電)0967(25)5011

ちびっ子たちに大人気のオープンイベント!!



県内トップのイチゴ出荷始まる
販売高6億円を計画する

阿蘇中部地区



JA阿蘇の阿蘇野菜集荷場では10月20日、県内では最初となる高冷イチゴの出荷が始まりました。2009年度は「さがほのか」「紅ほつべ」15haの作付けを中心に9月上旬から定植が始まり、天候にも恵まれ順調に生育していました。

JA阿蘇の中でも上位の作付面積を誇る特産の高冷イチゴ。寒暖の差があるため、肥培管理が難しい反面、食味は申し分ありません。阿蘇中部イチゴ生産者は61人で出荷量は300gパック入り200万パック、販売高6億円を計画しています。出荷は6月下旬までとなっており、パツクンの玉肥大を見て販売担当の白川幸生職員は「自信を持って販売していきたい」と語っていました。

(右写真) 出荷前の検査をする職員

前年と同時期の出荷開始となる
業務用イチゴの販売強化も

阿蘇南部地区

JA阿蘇南部イチゴ部会では10月27日より、南部野菜センターで阿蘇イチゴの出荷を開始。当日は同部会員が持ち込んだ「さがほのか」を担当職員が検査し、福岡方面へと出荷しました。

平成21年は梅雨明けが平年より遅く、苗の充実度不足が心配されたものの、その後は好天に恵まれ例年に負けない出来となりました。前年のような定植時期の集中的な降雨もなく、乾燥傾向だったため灌水量不足で葉の展開速度が落ちることが懸念されましたが、各圃場にあつた水管理指導を行いました。前年と同時期の出荷開始となりました。



初検査をするJA職員

同部会では今年6月まで出荷計画を組んでおり、今後は大阪を中心に142t(前年比101%)出荷の予定です。また業務用イチゴの販売強化にも力を入れ、単価の取れる販路拡大にも部会全体で取り組む計画です。担当職員は「今年は2番果が連続して入っており、株作りと1番果の摘果管理を徹底していきたい」と話していました。

阿蘇イチゴの定着めざし
細やかな対応できる産地作りを
南部イチゴ部会出荷査定会

南部イチゴ部会は11月25日、生産者ら約50人が出席し09年産出荷査定会を南阿蘇村で開きました。査定会では担当職員がプロジェクトを使用し、現在の生育概況と詰め方の見直しについて提案を行い、生産者からは「詰め方の個人格差が大きいので、同じ品物を安定して提供できるようにしたい」など意見が出されました。

山辺達也部会長は「阿蘇という世界的なブランドを生かした販売に力を入れ、消費地の求める販売アイテムへ積極的に取り組みたい」と抱負を語っていました。また、同部会では一昨年より生産者が少数の生産部会として他産地に負けない



い販売が出来ないかと、12月に役員が市場視察を兼ねて産地研修を行っており、レギュラー詰め300gを主軸とした出荷形態を取り入れ、市場や量販店の売り場担当と情報を共有化し、特徴のある販売展開をしています。

今年度は生産者24人(昨年比92%)、作付面積は4.3ha(同93%)の予定で、品種構成は「とよのか」19%、「さがほのか」81%で、販売目標は出荷数量48万5200パック(1パック300g)、販売金額1億5500万円、販売単価320円となっています。

(右写真) 南部イチゴ部会出荷査定会

梅雨等で前年実績を下回る
次年度は栽培計画を早めに
中部キュウリ部会反省会・総会



あいさつをする阿蘇品香輝部会長

J A阿蘇中部キュウリ部会は11月26日、09年反省会及び総会を阿蘇市で開き、部会員・市場・J A関係者ら50人が出席しました。

阿蘇品香輝部会長はあいさつで「今年は8月上旬までの梅雨等の影響で昨年の実績を大きく下回る結果となり、次年度は有利販売と長期的な栽培に努めたい」と語りました。

市場関係者は、「シーズンを通し安定した供給を頂き、消費地としては大変ありがたいことだと感謝しています。品質的にも安定しており、夏場のキュウリ生産地としてありがたい」と評価と感謝を述べました。

べました。

09年は出荷数量で約4万ヶ（5k）と前年に比べ93%で前年を下回りました。担当の井手友和指導員は「次年度の栽培計画を早め立て、計画的栽培にいつそう努めて頂きたい」と話していました。

J Aバンク熊本年金友の会
親善グラウンドゴルフ大会



Aブロック坂梨文男さん優勝
Bブロック佐藤節夫さん3位

熊本県内J A年金友の会の組織拡大を図り、会員相互の親善と融和を深めることを目的に、第11回親善グラウンドゴルフ大会が11月19日、パークドーム熊本で開催され、阿蘇町支部の坂梨文男さんがAブロックで見事優勝しました。

大会には県内J Aから497人の選手が参加。J A阿蘇からも地

大盛況の小国郷収穫感謝祭
俄担ぎ大会など
大いに盛り上がる

J A阿蘇小国郷中央支所は11月22日、野菜集荷場で収穫感謝祭を行いました。今回で9回目となる会場では、J A職員の各種バザーや生産部会・女性部・青壮年部の大鍋料理や赤牛焼肉、惣菜販売が行われ大勢の来場客で賑わいました。ステージの催し物では恒例のシルバールレット、太鼓演奏、俄担ぎ

区予選を勝ち抜いた45人が参加し、A・Bブロック4コートに分かれ各選手は熱戦を繰り広げました。Bブロックでも阿蘇町支部の佐藤節夫さんが3位に入賞しました。



仲間の応援をするJA阿蘇出場選手の皆さん

大会などが行われ大いに盛り上がりました。

俄担ぎ大会には男女20人が出場。男性は60k、女性は30kの俵を肩に担ぐまでのタイムを競う競技で、優勝した選手には小国郷で収穫された新米が贈られました。



恒例の俄担ぎ大会に大きな声援



会場では各種バザーが大盛況

御年賀の贈り物にいかがですか
赤土育ちの自然薯



J A阿蘇久木野自然薯部会は11月下旬から、自然薯の出荷を始めました。同部会では20数年前から自然薯栽培を始めており、高品質及び粘りによりこれまで固定客を増やしてきました。現在、生産者は10人。栽培方法はパイプの中に赤土を入れ、自然に近い状態で栽培を行い安定供給に努めています。今冬は例年よりも粘りがあり良質となっています。

毎年、県内外の消費者からの注文も多く、遠くは関東からも注文が寄せられ、歳末のお歳暮としても大変好評でした。この自然薯を頂いたお客さんからの問い合わせも年々増え、担当者は「確実にリピーターが増えているのを実感している」と話しています。商品はキロ当たり2500円程度。例年は「むかご付きですが、今季は天候不順により「むかごなし」の発送となります。

▼問い合わせは先||J A阿蘇南部野菜センター(電)0967(62)9976まで。

くまもと農業フェア開催

「2009くまもと農業フェア&米まつり」が11月14・15日、熊本県農業公園(カントリーパーク)で開催され、大勢の来場者で賑わいました。会場にはJ A阿蘇の展示販売コーナーも設けられ、安心安全な阿蘇の高冷地野菜やジャージー牛乳で作った乳製品などの販売が行われました。また、J A青壮年部の看板コンクールも行われ、J A阿蘇からは久木野支部と白水支部から作品が展示されました。



青壮年部久木野支部看板

食の未来



J A阿蘇白水青壮年部

青壮年部白水支部看板

約60tの廃プラを回収
今回は今年2月に実施



J A阿蘇中部管内では10月20日から4日間、一の宮選果場及び阿蘇町集荷場で廃プラスチック回収を行いました。回収日の4日間は特に好天に恵まれ、延べ400人の組合員より1年間の廃プラスチック(ポリ・ビニール・シート・灌水チューブ・肥料袋など)約60tを回収しました。直接持ち込んだ組合員からは「回収をしてくれて良かった。片付いた。1年に1回は必ず行ってほしい」などと要望も聞かれ、全体的に感謝の声が多くあがっていました。

今回はハウス内の片付けが終わる2月下旬に予定されています。



バリエーション豊かな水田オーナー制度
水田お助け隊の募集

山間部では、昔ながらの水田の広がる田舎風景が危機を迎えている。その原因は高齢化や後継者不足であり、その結果として水田の荒廃が進んでいる。そのような中、南阿蘇村では、田舎の田舎風景を農家と一緒に守って貰えるオーナー制度に平成22年より取り組むことになった。その名も「水田お助け隊」である。

水田オーナー制度は、全国各地で取り組みがされているが、同村が平成22年より取り組む制度は今までのものとひと味もふた味も違う。その目玉は二つあり、一つ目が「バリエーション豊かな水田」であり、秋は紅葉を楽しめる棚田や手植え、機

械植えなど自分が思うように出来るということ。

二つ目が「低参加費」である。この制度は、イベント型ではなく、オーナーと農家が交流しあうことで将来的にはお互いに連絡のやり取りをすることを目的としている。

「小さな水田を逆手にとって、水田を守りたいという人とともに子供たちにこの景観を残したい」という合言葉で同村の地産地消推進協議会は募集をしている。「水田お助け隊」の参加条件は①田植え時期と稲刈り時期に同村の水田まで来れる方②参加費用100㎡(30坪)＝18,000円(税込)が一口。収穫後、一口当たりお米40kgを贈呈となる。詳細については、インターネットで「水田お助け隊」と検索。

問い合わせは・同村役場農政課(電)0967(62)9113まで

今、米粉を使った料理がブーム

米粉の消費拡大の一役に
米粉を使った料理教室を開催



J A阿蘇では11月17日、以前JAにして行われた米粉料理研修会を活かそうと、米粉を使った料理教室を開催し、女性部事務局と支部長ら15人が参加しました。

当日は熊本リビングの新藤早苗さんを講師に招き、熊本県産の米粉を使った米粉ピザやロールケーキ、ロシアのパン「ピロシキ」の調理講習を行いました。参加者は新藤さんからの注意点やポイントなどをメモに取りながら熱心に調理をしていました。ピザの調理では薄く延ばした生地をフライパンで焼いて、トッピングに阿蘇たかなと

チーズを使い、出来上がったピザを試食したところ「米粉を使った生地がもちりとしていて、阿蘇たかなとチーズも相性がよく、とてもおいしい」と大好評でした。参加者からも「意外と簡単にできるので、今度は家でおやつとして作ってみます」と楽しそうに話していました。

阿蘇たかなピザの試食



クリームを塗って米粉のロールケーキを調理中

美味しそうなピロシキ



「良い品をより安く」
総合展示会が大盛況！



J A阿蘇では2009 J A阿蘇総合展示会を10月末より順次3会場で開催しました。

この展示会は、農業を取り巻く環境がますます厳しさを増している中、JAは組合員とのふれあいを更に深め、地域社会に喜ばれる事業展開を広げることが目的に開かれたものです。3会場での会期中、2126人の来場者があり、3千815万円の売上げ(前年比の102.4%)となりました。今後ともJAでは、生活用品においても更に良質で安価な商品提供に取り組み、生活事業の拡大を図る計画です。

「永年、ご苦労様でした」
功績をたたえ退職者を表彰

J A阿蘇は10月22日、09年度上半期に定年退職した3人の退職者への表彰式を本所で行いました。

中尾雄二組合長が退職者に感謝状と記念品を贈り、長くJA職員として貢献したことで功績をたたえ、その労をねぎらいました。

退職者の1人は「旅行で体を癒しゆつくりし、今後は1組合員としてJAに貢献したい」と感想を話していました。



感謝状を贈呈された退職者の方々



写真左から上島・井・後藤職員

JA阿蘇は11月14日、信用窓口ロールプレイング大会(窓口対応コンクール)を一の宮中央支所で開き、各店舗から10チームが参加し競技が行われました。あらかじめ設定された事例に従い、JAカードの推進、定期積金、定期貯金の満期解約と継続推進について日頃窓口で対応している技術を競い合いました。

審査には中尾雄二組合長や農林中央金庫職員らがあたり、競技の結果、最優秀賞に共通課題のJAカードの推進と定期積金の推進で競技した小国郷中央支所の井美穂さんが選ばれました。優秀賞には高森中央支所の後藤美香さんと、一の宮中央支所の上島由香さんが選ばれた。

JA阿蘇は11月17日、2009年7月に開催したJA阿蘇SS油外マッチレースの表彰式を阿蘇市で行いました。このマッチレースは、JA・SSスタッフの接客・点検・技術サービスの向上並びに組合員(お客様)満足・従業員満足を図るとともに、JA阿蘇SS経営の強化に資する目的で、管内全SSを対象として開催されたものです。

表彰式では中尾雄二組合長が「セルフとフルが点在する中、フルサービスの良さをこれからも発揮して頂き、組合員の負託に応えるJA・SSとなつて頂きたい」とあいさつ。結果報告が行われた後、中尾組合長より所長に賞状と褒賞金 hands渡されました。今回の表彰は計画対比の105%以上を達成したSSを対象としたもので柏・西原・久木野・高森・長陽・白水・南小国の7SSが受賞しました。受賞した上村絳亮久木野SS所長(JA阿蘇代表所長兼務)は「達成できたのはスタッフ全員が一丸となつて頑張ってくれたお陰です。今後もこれを満足することなく、次の目標をクリアします」と、次への意気込みを語っていました。

平成22年度 JA阿蘇職員2次募集

1. 申込書類受付期間

◎高卒(平成22年3月卒業見込み)……学校を通じて申し込みをして下さい。

申し込み期間:平成22年1月7日(木)

◎高卒(既卒)・短大卒・大学卒……直接JA阿蘇本所に申し込みをして下さい。

申し込み期間:平成22年1月7日(木)

2. 試験日(一次試験) 平成22年1月15日(金)

3. 募集要領の配布 JA阿蘇本所総務部総務人事課
および各中央支所で配布します。

お問い合わせ先

JA阿蘇本所 総務部
総務人事課(担当)時松
(電話)0967-22-6111



小国町の中心地・宮原にある「小国両神社」は、小国郷を開拓した高橋大明神と火宮大明神の兄弟二神を主祭神として、母神の兩宮媛神ほか家族・親族の神々二十一座を祀る歴史ある神社です。
神徳として農林畜産、祈雨祈晴、火災防止、縁結びなど生活守護の神としても有名です。また武徳必勝、

武道上達などのほか、さらに必勝開運の神様として、江戸時代より「富くじ」を行うことが許されていたことから、吉兆のお宮としても知られるようになり「千両・万両の神様」とも呼ばれるようになりました。昨今では、「お参りして宝くじが当たった」という話題もあって、開運招福の神社ともなっています。



写真＝左から白石彩華さん、麻生あかねさん、北みずきさん

「忠犬八子公」を読んで

白水小学校4年 北みずき

「ワン、ワン。」そんななき声が聞こえたような気がしました。

わたしはこの前、ちゃぐりんの「忠犬八子公」を読みました。八子公は大正十二年十一月に秋田県の大館市内で生まれ、その後、大正十三年一月に東京帝国大学農学部教授の上野英三郎さんの所へ引きとられました。八子公は、上野さんがかつた八びき目の犬なので、八子と名付けられました。八子は、日本を代表する犬種「秋田犬」で、上野博士の家に来た時はまだ生

後二ヶ月ほどだったそうです。八子は、その時、死にかかっていたので、上野さんが必死で助けたそうです。わたしはそれを読んで、上野さんは動物のために必死になって助けようとしたなんて、やさしい人なんだなあと思いました。

それから八子は、いつも博士に付いて歩き、博士をしぶや駅まで毎日送りむかえすることが、日課になりました。でも、大正十四年五月二十一日博士がのういつ血でとつぜん死んでしまったのです。そのため八子は、浅草にいる親せきに引き取られることになりました。でも八子は、夕方になると八キロ先のしぶや駅へもどってくるのでした。雨の日も、夏の暑い日も、雪の日も、毎日、毎日、七年間もの間待ち続けました。そんな八子のすがたが新聞にのつたのです。八子は一役有名になり、「八子公」とよばれ、人気者になりました。「八子公はしぶやのほこりだ。生きている間になんとかどうぞうを作つてやりたい。」という話にさん同する全国の人々からほ金が集まり、昭和九年に八子のどうぞうがたちました。

でも、昭和十年三月八日早朝、八子は十一年の生がいをとじました。上野博士がねむる青山ぼち近くの路地でひっそりと死んでいたそうです。わたしは、「忠犬八子公」を読んで、博士の深い愛情が八子を、しぶや駅へ向かわせたのではないかなあと思いました。この「愛情」が今、ひきんな事件がおきている社会に、必要なものではないかと思えます。今、博士と共にねむる八子は、とても幸せなことでしょう。八子は博士のことが大

すきで、博士がなくなつてからも大すきだったんだなあと思いました。

平和を願う「特攻花」

特攻花をとり続けてを読んで

中原小学校4年 麻生あかね

私はこの本を読んで思ったことは、かこしまつて近いなと思いました。そこで特攻という人の命をかんたんにうばつてしまふことがあつていたとは思いませんでした。

この話を読むまで特攻という言葉も特攻花もしりませんでした。島のむすめからのおくり物からはじまつた特攻花。むすめたちは、どうしても死にいく人に花のたねをわたしたのか、どうして花のたねをもらつたのかわかりません。でもむすめたちも、へいたいたちも、みんなかならず少しくらい生きたい。生きて帰りたい。という心があつたんじゃないでしょうか。そんな思いがたくさんつまつた特攻花は、本当に死なないですむ平和を願つた花だと思えます。でもその中で生きたこつた板津忠正さんはくやしい、なかまがしんだのになぜ自分だけ生きたこつたんだ。とくるしかつたと思えます。

もしそれが、自分だったらどうしよう。みんなないのに自分だけ生きたこる。自分も死んでしまいたいと思いませんか。

でも死にきれないんです。やっぱりやめようか。やろうか。と苦しんでそして死ぬのはいやです。でもそうだんできる人がいたらどんなにうれしいか。特攻の母の鳥浜トメさんはせんそうのことをかたりつげといました。その人のような考えをもてたらな。と思いました。

まだあるかもしれないせんそう。いまはせんそうなんてしない。どいつているけどまたこの日本でたくさんの人が命をおとすかもしれないと思うとやめて。と思います。いま特攻花でかたりつがれている物を私たちがまたつぎのせだいへつないでいかないといけない。と思います。私もたすけ合う心をもって人の心をわかるように生きたいと思いました。そして特攻花からおしえてもらったものを友だちにもかぞくにもつたえていきたいです。

お米を調べて

高森中央小学校4年 白石 彩華

私は、ちやぐりんの「お米について調べよう」のページを読んで初めて知ったことが、たくさんありました。

まず、たくさんのお水を張った田んぼからは、水蒸気がたつぷり出ていて、気温が上がるのを防いでくれるのを初めて知りました。

田んぼの土はとても細かいから地面にしみこんで、水はよこれなどが取りのぞか

れてきれいになり、田んぼにすむび生物も水をきれいにする手伝いをしているので、すごいと思いました。

そして、田んぼでは、イネだけではなく、いろいろな生き物が育つことを初めてしり、すごいなあと思いました。

また、田んぼは、たくさんのお水をたくわえておくことができる。「ダム」なんだ。たくさんのお雨がふっても、田んぼからゆつくりと地面にしみこんでいくことで、洪水や土砂くずれをふせいでくれていることがわかってびっくりしました。

最後に、田畑などの風けいには、気持ちのリラックスさせる効果があることと、食べ物だけなら外国から、ゆにゆうすることができると、田んぼや畑がある風けいは、ゆにゆうすることができない。今ある田畑は、大切な、働きや、「ダム」「クローラー」になるので、お米、田んぼ、畑は、すごいと思いました。

また、お米を食べることはかんきょうに、やさしいということがわかりました。

これまで見てきたように、田んぼには、かんきょうにやさしいたくさんのお米のよいことがあるんだ。

だから、みんなお米をたくさん食べて、その分、田んぼでたくさんお米を作ることができたら、それだけかんきょうにやさしい生活ができる。

でも、それだけじゃない、ほかにもかんきょうにやさしい理由が、もうひとつある。それが「フード・マイレージ」だ。

日本は、食べ物の自給りつが約40%しか

ないけど、お米の自給りつはほぼ100%。みんながふだん食べているお米は日本で作られたものなんだ。食べ物を外国からゆにゆうするには、たくさんのおエネルギーを使って運んでこなければならぬから、かんきょうに多くのふたんをかけてしまう。でも、お米は、地元で作られたものを地元で食べる「地産地消」の代表選手だ。だからフード・マイレージも低く、かんきょうにもやさしいことがわかりました。私は田んぼには、お米を作る以外にも、さまざまなはたらきがあることもわかりました。

この本を読んで私は、もつとお米のことをたくさんしりたくなりました。

ほかにも、かんきょうにやさしい理由を2つしたのでよかったです。

私は、このことをして、お米はこんななつてなんだ。もつと知りたいなあと思いました。



●大根収穫と乳搾りに挑戦



「まるごとあそびスクール」では9月26日、大根の収穫と乳牛の乳搾りに挑戦しました。今回の体験には阿蘇郡市の子供たち32人が参加。大根収穫は小国郷大根部会の坂本繁敏さんの圃場で行われました。説明を受けた子供たちは、簡単に抜ける大きな大根に歓声をあげながら収穫をしました。

次に酪農家の高村武志さんの畜舎で酪農見学と乳搾り体験をしました。高村さんよりジャージー牛の説明を受けた後、牛とふれあい、乳搾りや哺乳をしました。乳搾りをした子供たちからは「乳首がで

こぼっていて意外と硬かったけど、ちゃんと搾れたよ」と笑顔で話していました。

哺乳では大きな哺乳ビンを抱えて子牛に差し出したところ、力強く引つ張られながらも、補助を受けて無事ミルクを飲ませることができました。小国郷中央支所ではバター作り体験をしました。職員より原料が入ったベットボトルをもらい、子供たちは悪戦苦闘しながらベットボトルを振り続けると「できたー」と歓声があがり、出来上がったバターをパンに付けて試食しました。

最後に全員でパーベキューをして先生役のJAのお兄さん・お姉さんらとのコミュニケーションを深めました。



哺乳ビンで子牛にミルクを

大きなダイコンピース!



ハウスでトマトの収穫

●大豆とトマトの収穫体験

11月7日、あそびスクールの子供たちは、大豆とトマト収穫体験をしました。今回の体験には阿蘇郡市の子供たち20人が参加しました。大豆収穫は5月に種を蒔いた畑に移動し、大きく成長した大豆をのこぎり鎌で一株一株ていねいに刈り取り、その大豆株を全員で協力しながら一か所に集め、収穫の喜びを分かち合いました。

その後、近くのハウスに移動してトマトの収穫を班ごとに分かれて行いました。ハウスでは真っ赤に完熟した大きなトマトを選びながら収穫し、収穫したトマトは「ちやぐりんの時間」でみんなで試食しました。子供たちは「やわらかくて、甘くておいしい」と笑顔で、あつという間に完食となりました。



刈り取った大豆は集めて家にして乾燥へ

将来を担う子どものために
第3回JA阿蘇旗争奪
学童わんぱく野球大会



準備中の長陽少年野球クラブ



初優勝の高森ドンキーズ

JA阿蘇は10月17日、第3回JA阿蘇旗争奪学童わんぱく野球大会を一の宮総合運動公園で開き、阿蘇郡市の小学生で構成する7チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

この大会は組合員・地域住民が住みなれた地域で、健康で安心して暮らせる豊かな地域社会・環境づくりによりJA阿蘇も貢献しようという目的で開催されたものです。

開会式で中尾雄二組合長が「農家の人が作っている米や野菜をたくさん食べて元気に野球を楽しんでください」とあいさつ。選手を代表して長陽少年クラブチームの市原将太君が元気に選手宣誓を行いました。

試合は決勝で長陽少年野球クラブと高森ドンキーズが対戦。高森ドンキーズは1回に先制点を入れると、3回に1点、5回に2点、6回に1点と追加。長陽少年野球クラブも6回に2点を返しましたが、高森ドンキーズが5対2で初優勝しました。

岩下凌主将は「二球一球を大事にしながら、みんなで心をつなげて楽しくプレーし、優勝できたのでよかった」と喜びを語っていました。



阿蘇で「あぐりんツアー」5月に植付けした稲を収穫



JA阿蘇は10月24日、JA熊本中央会主催の「あぐりんツアー」を開催しました。食農教育事業の一環として毎年行われているもので、今回は5月に植付けをした稲の収穫を行いました。

当日は曇り空で少し肌寒い日でしたが、熊本市内の児童と家族ら約100人が参加。児童らは自分たちで植え付けた水田が黄金色に実った稲を見て歓声を上げました。

JA阿蘇青壮年部の倉岡誠喜部長らの指導を受けながら、ほとんどが初めての鋤鎌を使い親子で交

代しながら「東一東丁寧に刈り、全員でコンバインまで運んで脱穀しました。途中でコンバインの試乗体験も行われ、青壮年部員と一緒に乗ってレバーを操作しながら刈り取りをしました。児童らは「音が大きくてすごかったけど面白かったよ」と笑顔で話していました。収穫された米は乾燥後、白米にして参加者宅まで届けられることになっています。



コンバインの試乗体験



初めての稲刈り体験

JA阿蘇職員異動のお知らせ

氏名	新 任 令	発令年月日	旧 任 令
北里 丈夫	小国郷中央支所金融課南小国機械化店舗長 (課長待遇)	平成21年10月26日	小国郷中央支所金融課小国金融店舗長 (課長待遇)
河津 篤	小国郷中央支所債権対策課長	平成21年10月26日	小国郷中央支所南小国金融店舗統括 (課長待遇)
北里 卓也	小国郷中央支所共済課長	平成21年10月26日	小国郷中央支所共済課長兼債権対策課長
穴見 優子	小国郷中央支所金融課小国機械化店舗長 (課長待遇)	平成21年10月26日	小国郷中央支所金融課金融係
橋本 美明	小国郷中央支所購買課購買係	平成21年10月26日	小国郷中央支所金融課南小国金融店舗係
河津 美智枝	小国郷中央支所金融課渉外係	平成21年10月26日	小国郷中央支所金融課小国金融店舗渉外係
梶原 治美	小国郷中央支所金融課金融係	平成21年10月26日	小国郷中央支所金融課小国金融店舗係
井 美穂	小国郷中央支所金融課金融係	平成21年10月26日	小国郷中央支所金融課小国金融店舗係
高村 龍司	小国郷中央支所金融課渉外係	平成21年10月26日	小国郷中央支所金融課南小国金融店舗係
高本 英治	蘇陽中央支所購買課購買係	平成21年11月1日	馬見原支所馬見原給油所長代理
河津 剛成	小国郷中央支所購買課購買係	平成21年11月1日	小国郷中央支所購買課南小国給油所長
坂田 順哉	小国郷中央支所購買課小国郷給油所係	平成21年11月1日	小国郷中央支所購買課小国給油所長
佐藤 穂	小国郷中央支所購買課小国郷給油所係	平成21年11月1日	小国郷中央支所購買課小国給油所係
小野 泰嗣	小国郷中央支所購買課小国郷給油所係	平成21年11月1日	小国郷中央支所購買課南小国給油所係
田中 隼人	蘇陽中央支所購買課柏給油所係	平成21年11月1日	馬見原支所馬見原給油所係
宮崎 裕介	蘇陽中央支所購買課柏給油所係	平成21年11月1日	蘇陽中央支所購買課購買係
笠野 紘希	馬見原支所馬見原給油所係	平成21年11月1日	蘇陽中央支所購買課柏給油所係
河内 万紀生	南部農機車輛センター長代理	平成21年11月1日	南部農機車輛センター車輛係
藤川 平政	南部農機車輛センター農機係	平成21年11月1日	南部農機車輛センター車輛係
斎藤 博鴻	営農部小国地区統括課長兼畜芸課長代理	平成21年12月1日	営農部園芸課長代理(課長待遇)
安岡 新典	営農部南部地区統括課長兼農産課長代理	平成21年12月1日	営農部農産課南部地区主任 兼農産係南部地区担当



農林業センサス

2010年世界農林業センサスにご協力ください

平成22年2月1日現在で、全国一斉に“農林業の国勢調査”といわれる「2010年世界農林業センサス」を実施します。

この調査は、今後の農林業の政策に役立てるために5年ごとに実施する極めて大切な調査です。

1月下旬から農林業を営んでいる皆様のところへ調査員が訪問して、調査票に農林業の経営状況などの記入をお願いしますので、是非ご協力をお願いします。

(問い合わせ先)

熊本県統計調査課、又はお住まいの市町村統計担当課



理事会・監事会報告

■平成21年度第9回理事会

日時 平成21年10月29日午後1時

場所 小国郷中央支所会議室

1. 開会

2. 組合長挨拶

3. 協議事項

委員会報告(経済専門委員会)

平成21年度上半期実績報告について

1) JA教育ローン「希望」キャンペーン実施に伴う

特別金利(固定金利の日本政策金融公庫

(国民生活事業)国の教育ローン金利フラット)の採用

及び振込手数料減免について(案)

2) ICキャッシュカード・一体型カードの顧客発行・

更新手数料の全国一律無料化にかかる顧客手数料の

改正について(案)

3) ゆうちょ銀行・JPマリンバンク・コンビニATMの

入出金手数料平日日中無料化等にかかる顧客手数料の

改定について(案)

4) 貸出金について

5) 献穀事業について

6) 固定資産取得について

7) 建設委員の選出について

8) 営農部職制規程の改正について(案)

報告事項

1) 平成21年度仮決算事務監事監査日程表について

2) 平成21年度上半期内部監査実施状況報告書について

3) 平成21年度全国監査機構期中監査実施計画書日程について

4) 出資金の対応について

5) 2009' JA阿蘇 総合展示会について

6) 購買事業への訴訟に伴う中間報告について

7) 平成21年度農政連合費の徴収方法について

4. 閉会

■平成21年度第10回理事会

日時 平成21年11月27日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会

2. 組合長挨拶

3. 協議事項

委員会報告(債権管理委員会)

10月末実績について

1) 熊本県「JA統一ローン」融資要綱の一部改正及び

特別対応要件の制定について

2) 貸出金について

3) 支所管理規程の改正について

4) 小国郷SS設備リース契約について

5) 営農部機構改革に伴う規程の改正について

6) 平成22年度JA阿蘇職員二次募集について

7) 職員年末賞与支給について

報告事項

1) JAバンク基本方針に基づく「経営状況に関する事項の報告」(財務)について

2) JAバンク基本方針に基づく「経営状況に関する事項の報告」(体制整備)について

3) 平成21年度JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの進捗状況について

4) JA活動総合3ヵ年計画に伴う平成21年9月30日現在の進捗状況について

5) 不祥事未然防止の為に行動計画部署別平成21年9月30日現在の進捗状況について

6) 組合員の加入及び脱退状況について

7) 第23回JA熊本県大会の開催について

8) 12月理事会開催について

4. 閉会

●平成21年度第6回監事会

日時 平成21年10月16日午後1時

場所 本所2階第1会議室

1. 開会

2. 挨拶

3. 議題

1) 平成21年度仮決算事務監事監査日程及び場所(案)について

2) 内部監査報告(平成21年度上期)について

3) 全国監査機構期中監査日程について

4) その他 ①監事監査事務手続研修

4. 閉会

●平成21年度第7回監事会

日時 平成21年12月2日午後1時30分

場所 本所2階第1会議室

1. 開会

2. 挨拶

3. 議題

1) 平成21年度仮決算事務監事監査報告書(案)について

2) 平成21年度導入家畜棚卸監事監査実施(案)について

3) 固定資産現地確認の結果について

4) その他

4. 閉会



Dr. やまさん
お知恵拝借

突然死について



予期していけない突然の病死のこと。急死ともいなり、発症から死亡までの時間が 24 時間以内という医学的定義がなされています。

原因としては急性心筋梗塞、狭心症、不整脈、弁膜症など心臓血管系疾患が大部分を占め、その他に脳血管疾患、消化器疾患などが続きます。

突然死の原因となる病気



7割以上が 心臓・血管 に原因

心臓突然死は年間約 5 万人といわれ、その中でも特に多いのが急性心筋梗塞です。

また、突然死に至った発症時の状況についての調査結果をみると、就寝中が最も多く、ついで入浴中、休養・休息中、排便中となっています。

突然死の予防

原因疾患(生活習慣病)の予防

原因疾患の早期発見と管理

誘引の排除

- ・ 精神的・身体的ストレス
- ・ 生活習慣(食事、飲酒、喫煙、運動など)

40 歳を過ぎて、生活習慣病の危険因子(高血圧、高脂血症、糖尿病、喫煙、肥満、過量の飲酒、寝不足、ストレスなど)が 2 つ以上あれば重症化を招く事をお勧めします。

特に、心臓病をお持ちの方は、過度な運動やストレス、睡眠不足などによって、急激な不整脈が現れる場合もありますので、生活習慣に十分注意してください。



熊本県厚生連診療所 所長 中山 茂樹

TEL 096 (328) 1250 FAX 096 (328) 1258

